

雨水ネットワーク10周年

～雨を活かす 人へ 未来へ～



◆ 開催日：2018年8月25日（土）10：00～17：30

入場無料

◆ 会場：東京大学生産技術研究所 コンベンションホール 目黒区駒場4丁目6-1

【開催趣旨】

雨水活用や水循環系の健全化等に関わる、市民・企業・行政・学会等で形成する“緩やかな情報のプラットフォーム”「雨水ネットワーク」は、2008年に誕生し、今年で10周年を迎えます。

東京墨田で第1回の全国大会を開催し、その後、福岡、松山、大阪、東京、東北、福井、愛知、東京、広島で開催されました。その成果として、それぞれの地域で雨水活用に関する新たな取り組みがはじまり、継続的に展開されています。また、2014年には「水循環基本法」と「雨水の利用の推進に関する法律」が施行され、制度面からも雨水活用の推進に関する準備が整いました。

このように制度の整備や地域での推進活動が行われる一方、社会に目を向けてみると、雨水活用が大きく進展をしたとは言えない状況です。本大会では、これまでの10年間を振り返り、“何が足りず、補うにはどうすれば良いのか”を見い出したいと考えます。

「雨水ネットワーク」が「未来」に向けて「人」を育て、新たな一歩を踏み出すために、多くの方々のご参加をお待ちしています。

◆プログラム（予定含）

第1部 10：00～12：15

★基調講演 「気象災害の犠牲者はなぜ減らないのか」

三隅 良平さん（国立研究開発法人防災科学技術研究所 水・土砂防災研究部門 部門長 総括主任研究員）

★雨水活用に関する報告

- ・「雨水の利用の推進に関する法律」施行後の展開（仮）：国土交通省 水資源政策課
- ・雨水から始めるまちづくり（仮）：NPO 雨水まちづくりサポート
- ・雨水活用に関する最新の製品・技術等（仮）：日高規晃（TOKILABO（節水村）代表）
- ・学会基準における雨水（仮）

第2部 13：15～14：50

★雨活レポート「地域で育む雨活」福岡・松山・大阪・東京・仙台・福井・愛知・広島、これまでの開催地での雨水活用推進活動について報告頂きます。

第3部 15：10～17：30

★パネルディスカッション「雨から見える未来」

パネリスト：栗原秀人さん（下水道広報プラットホーム・メタウォーター）
 山海敏弘さん（国土技術政策総合研究所 住宅研究部長・国土交通省“巧水スタイル推進チーム”代表）
 島谷幸宏さん（九州大学工学研究院 教授・あまみず社会研究会 代表）
 山本耕平さん（NPO 法人雨水市民の会 理事長・（株）ダイナックス都市環境研究所 所長）
 笠井利浩さん（福井工業大学 教授・日本雨水資源化システム学会 理事）

コーディネータ：神谷 博さん（法政大学兼任講師・NPO 法人雨水まちづくりサポート 理事長）

※雨水活用推進の変革に向けた活動等について、参加者も含めディスカッション します。

交流会「つながる人 つながる雨」（会費制）：雨水活用推進のための情報交換・交流を図ります。

■主催：雨水ネットワーク全国大会 in 東京実行委員会

■後援：国土交通省 一般社団法人日本建築学会雨水活用推進小委員会 公益社団法人空気調和・衛生工学会
 NPO 法人雨水市民の会 NPO 法人雨水まちづくりサポート 雨水ネットワーク東北 関西雨水市民の会
 NPO 法人京都・雨水の会 NPO 法人碧いびわ湖 あめゆき Café 雨水楽舎 あまみず社会研究会
 NPO 法人全国水環境交流会 みずとみどり研究会

■協賛：公益社団法人雨水貯留浸透技術協会 株式会社タニタハウジングウェア 株式会社日東ジオテクノ

★お問い合わせ：大会実行委員会 事務局 taikai@rain-net.jp

千代田区麴町3-7-1 半蔵門村山ビル1F 雨水貯留浸透技術協会内

大会サイトURL

<http://www.rain-net.jp/z-taikai.html>

